形名	定格	出力モード	演色性	定格電圧	入力電流（A）			入力電力（W）		
					100V	200V	242V	100V	200V	242V
EL-LA15010【N,W,WW,L】/1	AHTN	定格	Ra85	AC100-242V	0.122	0.063	0.055	12.0	12.0	12.2
		節電			0.087	0.046	0.040	8.4	8.4	8.6
EL-LA10000【N,W,WW,L,27】/1	AHTN	定格	Ra85	AC100-242V	0.093	0.048	0.043	9.0	9.0	9.2
		節電			0.067	0.036	0.033	6.4	6.5	6.7

器具の取扱い

・受信電波が弱い場合には、AM 及び短波放送では雑音が入る場合があります。
・器具の近くでワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正常に作動しない場合があります。
・赤外線リモコン方式のテレビ・ラジオなどは、照明器具から離してご使用ください。（雑音が入ったり、正常に作動しない場合があります。）
・放送設備などの音声信号や映像信号は微弱なため、電源線や安定器の配線からの雑音を受けることがあります。

お手入れ

⚠警告 **電源スイッチを切ってから行う。**（感電の原因）

⚠注意 **点灯中及び消灯直後の器具には触らない。**（高温のためやけどの原因）

<器具>
器具の汚れがひどいときは、柔らかい布を使用量の目安まで水でうすめた台所用中性洗剤につけてよくしぼってから拭きとり、さらに洗剤成分が残らないようによくしぼった水拭き用の柔らかい布で仕上げてください。台所用中性洗剤は、原液のまま使用しないとともに、シンナー・ベンジン・みがき粉やたわし・熱湯・アルカリ性洗剤・薬品などは使用しないでください。
<光源ユニット>
光源ユニットはキズつきやすいのでメガネ拭き等柔らかい布で拭いてください。
強い力で拭いたり、化学雑巾を使用しないでください。

保証とアフターサービス

保証とアフターサービスは、器具本体と光源ユニットに適用されます。

・無償修理
照明器具の商品納入日より1年間、また照明器具に内蔵されている LED 光源・電源ユニットは３年間です。

・無償提供
LED 光源・電源ユニットの故障による不点灯不具合につきましては、代替商品または LED 光源・電源ユニットを５年間無償提供させていただきます。

※保証期間と保証内容についての詳細はカタログを参照ください。
・この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

異常時の処置

⚠警告 **煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。**（火災・感電の原因）
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

この説明書は、再生紙を使用しています。

取扱い・修理のご相談は、まず**お買上げの販売店・施工者・設備業者へ**

三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒247-0056　神奈川県鎌倉市大船 2-14-40
ご相談窓口 照明技術相談センター
フリーダイヤル 0120-348-027（無料）
受付時間 9時～17時（土・日・祝日は除く）
FAX (0467) 46−8861

お買上げの販売店等にご依頼できない場合は、ご相談窓口へお問い合わせください。

E771Z139G03　E771Z139H24

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきありがとうございました。

保管用

MITSUBISHI ELECTRIC
三菱 LED 照明器具

[1 ～ 100%連続調光形]

当社器具本体と光源ユニットの組み合わせで性能を満足します。

LED 一体形建築化照明 SLIT　L450 タイプ

※【 】内は光色を示します。

形名　**EL-LA15010【N,W,WW,L】/1**　**AHTZ（高出力タイプ）**
EL-LA10000【N,W,WW,L,27】/1　**AHTZ（定格出力タイプ）**

据付工事説明書
取扱説明書

○施工の前に、この説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。
○電源周波数 50Hz、60Hz 共用形ですから、日本全国どこでも使用できます。

安全のために必ず守ること

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

⚠警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度

⚠注意 取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください。

必ず指示に従い行ってください。

⚠警告

禁止

- **引火する危険のある雰囲気（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所）で使用しない。**（火災の原因）
- **光源ユニット単体で使用しない。**（落下・感電・火災の原因）
- **器具取付けの際は電線を挟まない。**（絶縁不良により感電・火災の原因）
- **配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。**（絶縁破壊により感電・火災の原因）
- **補強のない天井には取付けない。**（火災・落下の原因）

厳守

- **施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規程に従い行う。**
- **電源線を送り接続する場合は、7A 以下で使用する。**（過熱による火災の原因）
- **信号線と電源線を束ねて施工しない。**（誤作動の原因）
- **コーブ、コーニス照明の場合には、最小施工寸法より大きい寸法で施工する。また、器具を造営材等に埋め込んで使用したり、断熱天井や断熱壁に取付けて使用しない。**（過熱による火災の原因）

⚠注意

禁止

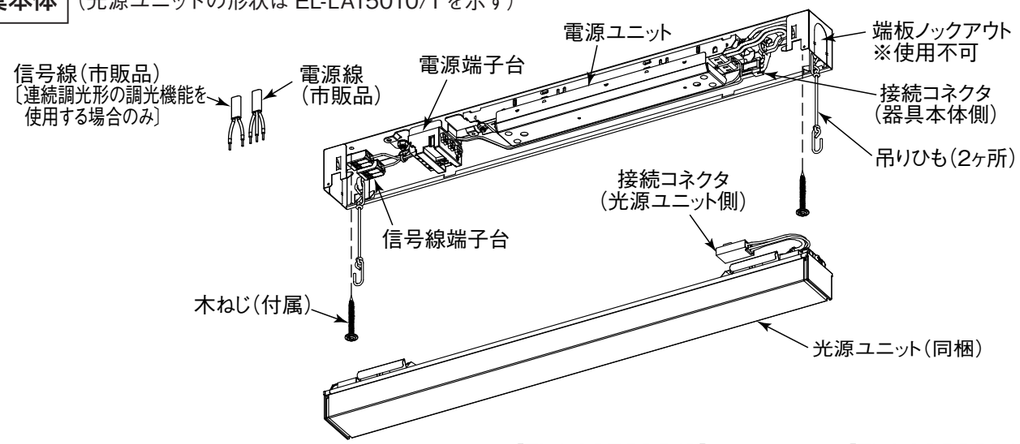
- **高温（35℃を超える）、高湿度（85%RH を超える）、粉じん、機械工場などの油煙のある場所、強い振動・衝撃のある場所で使用しない。**（落下・感電・火災の原因）
- **天井（傾斜天井含む）、壁（縦・横）、据置専用直付器具です。**（指定以外の取付けは、火災・落下の原因）
- **壁縦取付の場合、器具内へのほこり侵入のおそれがある為、上側の端部ノックアウトから電線を引き込まない。**（電源端子台へのほこり堆積により、火災の原因）
- **木ねじ取付器具です。付属の木ねじで補強材のある場所に確実に取付ける。**（落下の原因）
- **器具を乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない。**（絶縁不良やさびにより感電・落下の原因）
- **表示された電源電圧以外では使用しない。特に定格電圧の 90%以下の電圧使用は、電源ユニットの短寿命、故障となります。**（火災・感電の原因）

禁止

- **器具を密集して取付けない。（200mm 以上離す）**（器具の温度が高くなり火災の原因）
- **風が吹く場所で使用しない。**（落下の原因）
- **器具のノックアウトを外す場合は工具により電線を傷つけない。**（絶縁不良により感電・火災の原因）
- **狭い箱のような中で使用しない。また、器具を隠して使用する場合は、放熱を妨げない。**（器具が過熱して火災の原因）
- **直射日光の当たる場所で使用しない。**（変色・変形・火災の原因）
- **一般屋内用器具です。屋外や水気・湿気のある場所（厨房・脱衣所など）、及び軒下、屋外通路、アーケード、開放型駐車場、ピロティなどの雨線内では使用しない。又、腐食性ガスやオゾンが発生する場所では使用しない。**（絶縁不良による感電や火災・落下の原因）

各部のなまえと取付けかた

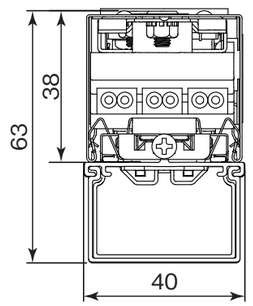
器具本体（光源ユニットの形状は EL-LA15010/1 を示す）



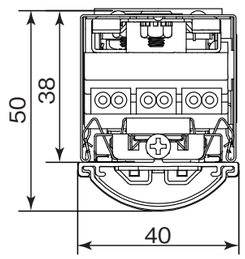
付属品
・木ねじ（φ 3.8 × 38 mm）：2 個
・連結具：1 個

※ 電源端子台と反対側の端板ノックアウトはご使用できません。

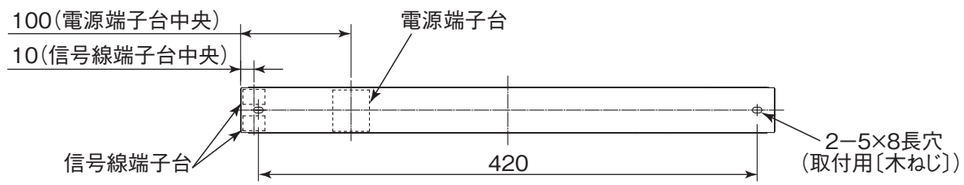
【EL-LA15010/1】
高出力タイプ



【EL-LA10000/1】
定格出力タイプ

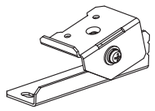


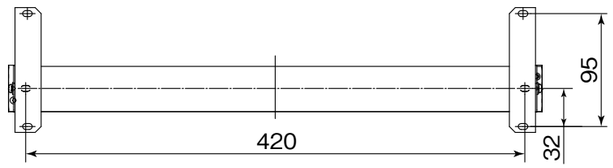
器具単体　取付穴（単位 mm）



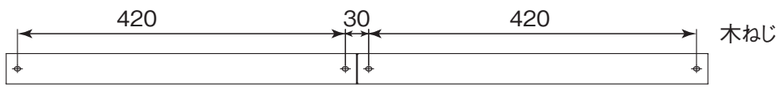
角度調整金具使用時　取付ピッチ（単位 mm）

角度調整金具（2個セット）
EL-XRE004（別売）





器具連続取付時　取付ピッチ（単位 mm）



お願い

・周囲温度は 5 ～ 35℃の範囲で使用してください。
・温泉地など、硫黄成分を含む腐食性ガスやオゾンが発生する場所では使用しないでください。また、一般屋内でも器具周囲に硫黄成分が存在する場所では使用しないでください。光学特性に不具合が発生する原因となります。
・油煙のある場所では使用しないでください。光学特性が低下する原因となります。
・防犯カメラ等を使用する場合は、フリッカ―対策仕様のカメラを使用してください。
・器具と半導体スイッチ式人感センサスイッチを組合わせるとちらつきや騒音の発生、電源ユニット故障の原因となります。リレー接点式人感センサスイッチを使用してください。
・電源スイッチに片切スイッチを使用する場合、片切スイッチを電源の高圧側に設置してください。200 V電源を使用する場合は両切スイッチを使用してください。消灯時に微発光する原因となります。
・施工しにくい場所で器具を連結する場合は、2 名以上での作業を推奨します。
・ 照明器具には寿命があります。設置して 8 ～ 10 年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。LED 光源は寿命が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯出来るからといって継続して使用が可能というわけではありません。※使用条件は周囲温度 30℃､1 日 10 時間点灯､年間 3000 時間点灯です。
・ 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。
・ 3 年に 1 回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
・ 点検せずに長期間使用し続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。

知っておいていただきたいこと

・商品監視システム（防犯センサー）の一部の機器は電源ユニットの周波数と干渉して誤動作する場合がありますので、事前に商品監視システムのメーカーにご確認ください。
・電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
・電源事情のわるい場所では、LED がちらつく場合があります。
・使用周波数が数百 kHz の誘導無線（同時通訳システム）及び数百 MHz の空間波無線の場合、雑音が入ることがありますので、事前確認することをおすすめします。100V 電源の場合　には、接地工事することにより低減できる場合があります。
・バーコードリーダーを器具付近で使用した場合、読み取り感度が鈍くなる場合があります。事前確認することをおすすめします。
・長くご使用頂くと、カバー内に小さなほこりなど侵入するおそれがありますが、性能には影響ございませんので、予めご了承ください。
・LED にはバラツキがある為、器具内の個々の LED や同一形名の器具でも発光色、明るさが異なる場合があります。予めご了承ください。
・点灯または消灯後にピシピシと音がする場合があります。材料または部品の伸縮により起こる摩擦音で器具の異常ではありません。
・壁面や床面等への照射距離が近い場合や照射面によっては、光ムラが気になる場合があります。予めご了承ください。
・LED 光源のみの交換はできません。器具ごと交換をしてください。
・虫の飛来が多い場所で使用される場合、光源カバー内に虫が侵入するおそれがあります。
・当社制御装置との組合せで連続調光（1 ～ 100%）が可能です。連続調光の下限域で使用する場合、器具毎の明るさがばらつくことがあります。予めご了承ください。
・調光率と目で感じる明るさ感には相違があります。
・当社制御装置と組合わせて使用し、リモコンにてシーン設定や調光率設定をする場合、調光率がリモコン表示と器具で異なりますのでご注意ください (表 1 参照)。
・コーブ、コーニスに取付の場合、天井材の重みにより付属のねじでは先端が飛び出る場合がありますので適性な長さのねじをご使用ください。
・カバーは、熱・湿気による伸縮に対応するため、前後にスライドする構造となっています。

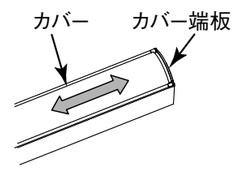


表 1

	調光率（%）											
リモコン表示	90	80	75	70	60	50	40	30	25	20	10	5
間接照明器具	90	79	74	69	58	48	37	27	22	17	6	1

	調光率（%）									
間接照明器具	90	80	70	60	50	40	30	20	10	1
リモコン表示	91	81	71	62	52	42	33	23	14	5

点灯モードの切り替え

本器具は、壁スイッチ操作により器具の点灯モード（光束値）の切替えができます。

・定格モード（定格光束）
・節電モード（定格光束の約 70%）

※信号線端子台を使用し、連続調光する場合は、壁スイッチ操作による点灯モードの切替はできません。
制御装置にて調光を行ってください。

1 器具取付後の点灯モード設定

○出荷時は定格モードに設定しています。

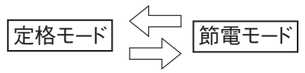
○点灯モード設定を切替える場合は、消灯状態で
壁スイッチのON－OFF操作を3回繰り返してください。

※壁スイッチの操作は、
ON（1～2秒）－OFF（1～2秒）の間で行ってください。

※ON－OFF操作を3回繰り返した後は、
最後のOFFから2秒以内に電源をONして、5秒以上
点灯させてください。

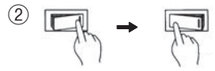
○点灯モード切替完了のお知らせ（ON － OFF 操作の直後のみ、
明るさの変化によりお知らせします。）

・定格モード切替：明るさが 1 回変化します。
・節電モード切替：明るさが 2 回変化します。



モードの切替

①消灯状態にする。

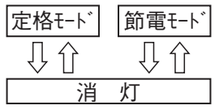


3 回繰り返す

③ 2 秒以内に電源を ON にして
5 秒以上点灯させる。

2 メモリー機能

○消灯しても、消灯前の点灯モードを記憶しています。
再点灯後は、消灯前の点灯モードで点灯します。



3 点灯モードのリセット操作

○器具間の点灯モードが揃わない場合は、一度リセットを実施して
ください。

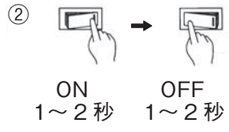
○リセットを実施する場合は、
消灯状態で壁スイッチのON－OFF操作を4回繰り返してください。
いずれの点灯モードからも定格モードへリセットされます。

※壁スイッチの操作は、ON（1～2秒）－OFF（1～2秒）の間で
行ってください。
※ON－OFF操作を4回繰り返した後は、最後のOFFから
2秒以内に電源をONして、5秒以上点灯させてください。

○リセット操作の完了は、明るさの変化によりお知らせします。
リセット操作後に明るさが1回変化すればリセット完了となり
定格モードでの点灯状態を維持します。

リセット操作

①消灯状態にする。



4 回繰り返す

③ 2 秒以内に電源を ON にして
5 秒以上点灯させる。

4 点灯モードの確認

○点灯モードの確認をする場合は、消灯状態で壁スイッチのON－OFF操作を２回繰り返してください。

※壁スイッチの操作は、ON（1～2秒）－OFF（1～2秒）の間で行ってください。
※ON－OFF操作を2回繰り返した後は、最後のOFFから2秒以内に電源をONして、5秒以上点灯させてください。

○点灯モード切替完了のお知らせ（ON－OFF操作の直後のみ、明るさの変化によりお知らせします。）

・定格モード切替：明るさが1回変化します。
・節電モード切替：明るさが2回変化します。

1 取付前の確認

（1）器具質量（約 0.9 kg）及び光源ユニットの引き下げ力（15.8 N）の合計に十分耐えるよう、
木ねじの強度を確保する。

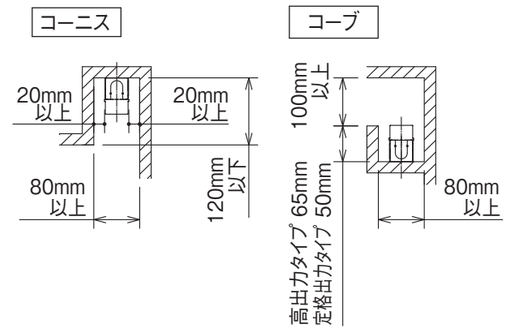
・付属の木ねじ（呼び径 φ 3.8 × 38 mm）を使用し、取付面の厚さは 9 mm 以上とする。

⚠警告 器具の取付けは質量に耐える所に取付ける
（落下の原因）

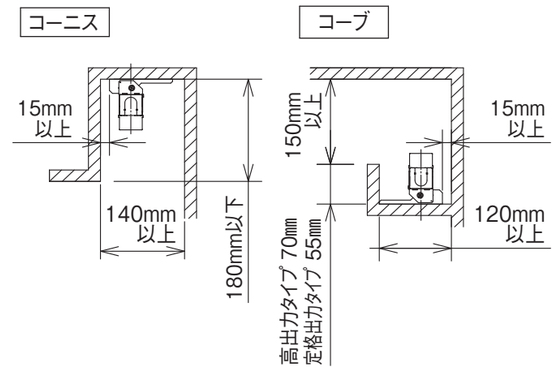
(2) 最小施工寸法

設置可能な最小の寸法を示しています。光の効果を十分に得るためには、照射面の仕上げ、
カットオフライン、器具と照射面との距離に注意して施工してください。

① 器具単体



② 角度調整金具使用時



2 器具本体を取付ける

（1）電源線・アース線および信号線を本体電源穴から引き込んでおく。

※電源穴ブッシュはマイナスドライバ等で突き破る。
※壁縦取付の場合、上面の端板ノックアウトから入線しない。
埃が侵入し電源端子台に堆積して、トラッキングによる火災の原因となります。

（2）木ねじで確実に取付ける。

⚠警告
- 取付けが不完全な場合落下の原因
- 内部配線を挟み込まない
- 既に使用されたねじ穴の再使用はしない

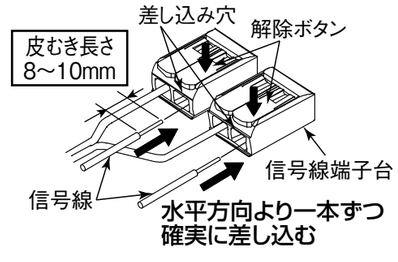
3 信号線を信号線端子台に接続する

（1）信号線を信号線端子台の差し込み穴に水平方向より一本ずつ
確実に差し込む。（調光機能を使用する場合のみ）

○適合引込み信号線：
φ 0.9mm FCPEV-1P 単線 または φ 1.2mm FCPEV-1P 単線
接続が不完全な場合、動作不良の原因となります。

○シールド線は、接地または金属筐体に接続する。

○信号線を信号線端子台から取り外すときは、解除ボタンを押す。



⚠警告 信号線端子台に電源線を接続しない
（過熱して火災の原因）

4 電源線、アース線を電源端子台に接続する

（1）アース線を電源端子台の差し込み穴に水平方向より確実に差し込む。

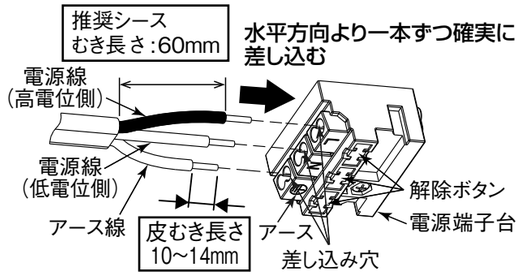
＜D種（第３種）接地工事が必要です＞

（2）電源線を電源端子台の差し込み穴に、水平方向より一本ずつ確実に差し込む。

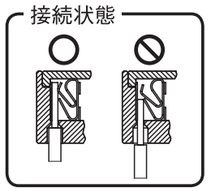
・電源端子台の送り総容量は７A です。

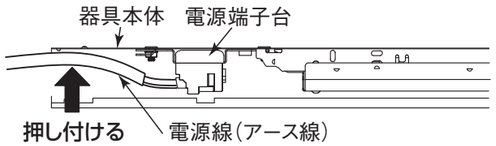
・適合引込み電源線：φ1.6mm VVF 単線

・電源線を電源端子台から取り外すときは、幅６mm のマイナスドライバーで、解除ボタンをまっすぐに押す。



（3）電源線、アース線の接続後、余分な電源線は光源ユニットとの当たりを防ぐため、電源線を器具本体に押し付ける。





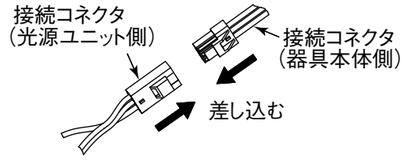
⚠警告

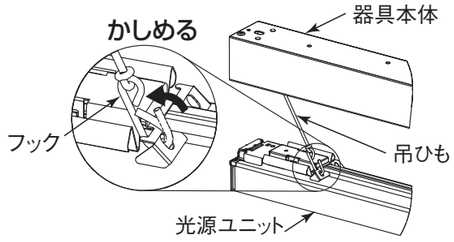
- **D種（第３種）接地工事を確実に行う**（接続不備は感電の原因）
- **アース工事は電気設備の技術基準に従い行う**（アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因）
- **電源線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む**（接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因）
- **電源の接続は適合太さの電源線を指定長さに被覆をむき、１本ずつ速結端子の奥まで差し込む**（差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因）
- **送り配線は照明器具専用とし、容量を確認して接続する**（容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因）

5 光源ユニットを器具本体に取付ける

（1）器具本体両端の吊ひものフックを光源ユニットに取付け、ペンチ等の工具で先端をかしめる。

（2）器具本体側と光源ユニット側の接続コネクタを接続する。



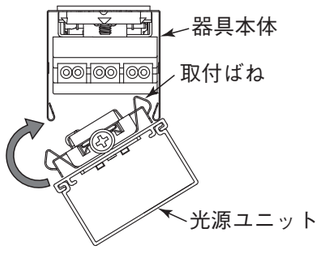


⚠警告

- **通電した状態でコネクタの接続をしない**（感電の原因）
- **コネクタの接続は確実に行う**

（3）光源ユニットを取付ける。

光源ユニット両端の取付ばねの短手片側を器具本体に挿入後、もう片側を挿入して取付ける。

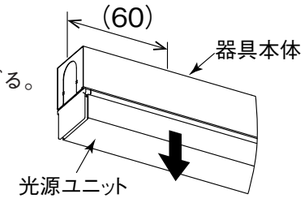


⚠警告

- **光源ユニットを確実に器具本体に取付ける**
- **接続コネクタ、電源線、信号線、送り配線を挟み込まない**（火災・感電の原因）
- **取付時に器具本体と光源ユニット間に指を入れない**（けがの原因）
- **光源ユニット取付後、電線の挟み込みがないことを確認する**（火災・感電の原因）

6 光源ユニットの取外しかた

（1）器具本体の端部より 60 ㎜ 程度の光源ユニット側面部を持ち、両手で引き下げる。



⚠注意 **点灯中及び消灯直後の器具本体及び光源ユニットに触らない**（高温のためやけどの原因）

7 連続取付の場合

（1）取付ピッチ（2 ページ参照）を確認する。

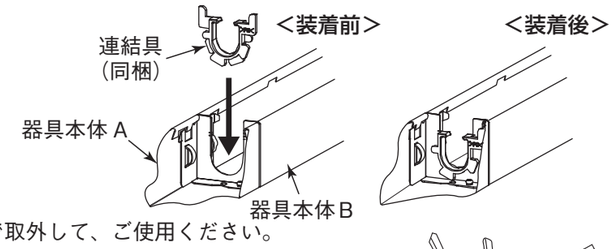
（2）器具本体の端部をそろえて連結する。

（器具本体の短手中心を合わせる）

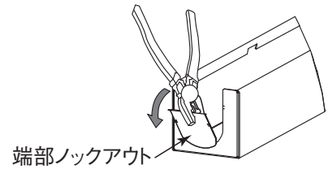
※連結具（同梱）のご使用を推奨します。

器具本体の中心が合わせやすくなります。

器具本体の端部ノックアウトをペンチ等で取外して、ご使用ください。



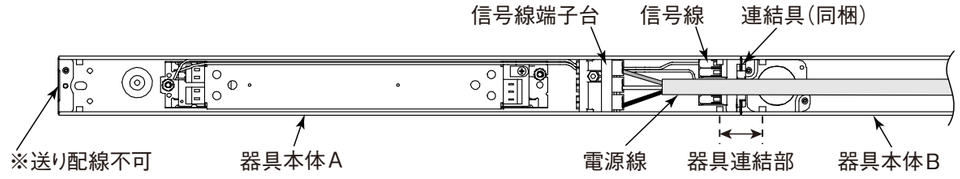
⚠注意 **ノックアウト取外し作業はペンチ等の工具を用いる**（けがの原因）



8-1 器具内送り配線をする場合

（1）電源線、アース線および信号線は以下の適合電線（別途手配）を使用し、器具間を接続する。

適合電源線：φ 1.6mm VVF 単線
適合信号線：φ 0.9mm FCPEV-1P 単線 または φ 1.2mm FCPEV-1P 単線



（2）電源線・信号線接続後、光源ユニットとのあたりを防ぐため、器具本体に押し付けてください。

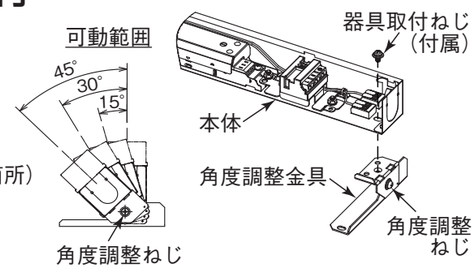
⚠注意

- **器具内送り配線は端部ノックアウト部分のシースを残して施工する**（感電・火災の原因）
- **同一端子台での送り配線不可**（感電・火災の原因）

8-2 オプション（角度調整金具）の取付

（3）① 角度調整金具の角度調整ねじを緩め、所望の角度にあわせてねじを締め、固定する。（ 0・15・30・45° で調整可能 ）

② 器具本体の木ねじ穴に角度調整金具を付属の取付ねじ（M4）で固定する。

③ 角度調整金具を取付け面に付属の木ねじで固定する。（４箇所）
※木ねじは、器具本体に付属の２個と、取付け金具に付属の２個を組み合わせてご使用ください。

④ 角度調整金具のピッチ（2 ページ参照）を確認する。